

## 「民間衛星の活用拡大期間」における関係府省の主な取組分野

令和 7 年 3 月 内閣府 宇宙開発戦略推進事務局

「第 3 回 衛星リモートセンシングデータ利用タスクフォース大臣会合」（令和 6 年 3 月 26 日開催）において、衛星データの利用をさらに加速していくため、令和 6 年度からの 3 年間を「民間衛星の活用拡大期間」として進めることとされた。

この期間中に、関係府省においては、特に技術力を持った国内スタートアップ等（解析事業者等を含む）が提供する衛星データを積極調達・利用することで、更なる投資促進の好循環を生み出すとともに、安全保障や国土強靱化、地球規模課題への対応に繋げることを目指すこととされた。

「民間衛星の活用拡大期間（令和 6～8 年度）」の間に、関係府省が実施（予定を含む）している主な取組分野は以下の通りである。

### 1. 利用拡大側

#### 1) 平時の取組

- ・ 農水省   ・ スマート農業・次世代衛星データ利用加速（施策位置付）
  - ・ eMAFF 地図による効率化・省力化（実運用中）
- ・ 環境省   ・ 地球規模での温室効果ガスの状況把握（実運用中）
  - ・ 速報性を重視した植生調査での活用（施策位置付）
- ・ 経産省   ・ 懸賞金型事業（グリーン、農林水産）（技術発掘）
  - ・ 衛星データ利用システム海外実証（研究開発）
- ・ 国交省   ・ 上水道の老朽化リスクの把握（施策位置付）
  - ・ 海外における水害リスクマップ作成等（先行事例）
- ・ 内閣府海洋   ・ 「海しる」機能強化・情報充実（施策位置付）

## 2) 災害時の取組

- ・ 内閣府防災    ・ 令和6年能登半島地震を踏まえた災害対応の在り方について（中防会議WG 報告書）  
SAR衛星を含めた情報集約を位置づけ（施策提言）
- ・ 文科省/JAXA    ・ CONSEO官民衛星「防災ドリル」実施・運営（実証訓練）
- ・ 内閣府科技    ・ 衛星マルチセンシングデータ統合システム（研究開発）  
・ 日本版災害チャータ（実証・体制構築）
- ・ 国交省    ・ 被災調査 浸水、土砂、道路、港湾（一部実利用）  
・ 民間SAR衛星等活用（地形等変化、土砂災害・浸水域、ダム管理、道路管理、海象観測・浸水予測）（研究開発）

## 3) 安全保障の取組

- ・ 防衛省    ・ 衛星コンステレーションの構築等（施策位置付）

## 2. 衛星システム開発側

- ・ 内閣府宇宙    ・ 小型SAR衛星コンステ利用拡大実証（実証活用）
- ・ 総務省    ・ 通信及び電波利用の高度化（通信速度）（研究開発）  
・ 気候予測モデルの精度向上（研究開発）  
・ 宇宙天気予報の精度向上（研究開発）
- ・ 文科省    ・ ALOS-2アーカイブデータを用いた事業化実証（実証活用）  
・ JAXAを通じた産業競争力強化に向けた  
関連技術開発（研究開発）  
・ 先進レーダ衛星（実運用前）  
・ 官民連携光学観測事業（研究開発）
- ・ 経産省    ・ 商業衛星コンステ構築加速化（基数増）（研究開発）  
・ 衛星サプライチェーン構築のための  
衛星部品・コンポーネントの開発・実証（研究開発）